

シラス卵稚仔分布調査情報 (No.3)

平成 27 年 6 月 22 日(月) に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査（水深 150m からの鉛直曳き）、新稚魚ネットによる仔稚魚採集調査（表層曳き）、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

【調査結果】

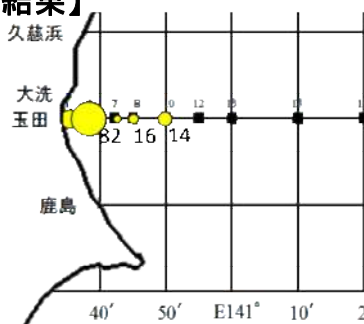


図1 カタクチイワシ卵採集結果

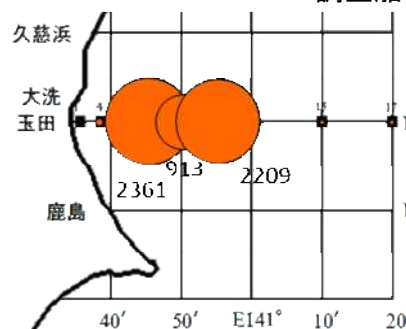


図2 イワシ類仔魚採集結果
 (カタクチシラス, ウルメシラスを含む)

■ 調査点
 (上の数字は地点番号)
 ○ 採集量
 (下の数字は採集数)

表 調査点及び観測結果

調査位置 (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度	140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'	20'
	離岸距離(マイル)	1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
観測結果	水深(m)	14	25	39	53	121	281	510	770	1000
	水温 0m	20.0	19.7	19.2	19.8	20.0	19.9	20.8	21.7	21.8
	50m	-	-	-	-	10.6	11.1	10.8	16.2	15.4
	100m	-	-	-	-	9.4	9.5	8.7	11.4	12.9
	流向° (10m)	187	203	185	200	213	163	114	38	137
	流速Kt(10m)	0.6	0.3	0.3	0.4	0.3	0.7	0.8	0.3	0.2

【まとめ】

調査ラインの水温は、全層で先月より 2~3℃ 昇温しましたが、極沿岸域では、依然として表層と下層（水深 50m）の水温差が大きい状況が続いています（最大で 10℃ 程度、上表）。また、潮流は概ね逆潮傾向でした。

カタクチイワシ卵、イワシ類仔魚は灘側で多く採集され（図 1, 2）、特に 1 地点あたりのイワシ類仔魚採集量は平年を上回りました。採集されたイワシ類仔魚の中には一部ウルメイワシの仔魚が混じっていました（図 3）。



図3 ウルメイワシ仔魚

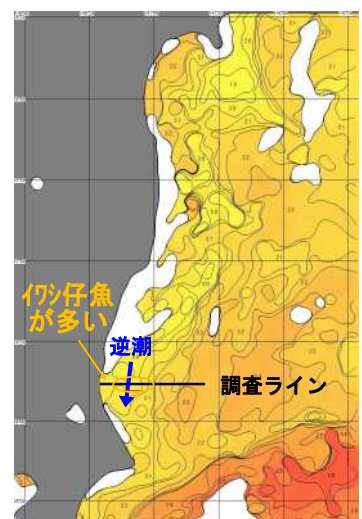


図4 NOAA衛星画像(6/23)